

園芸市場情報

平成26年5月号

www.pref.chiba.lg.jp/seisan/engei/

発行：千葉県農林水産部流通販売課
首都圏マーケティングセンター
住所：〒143-0001 東京都大田区東海3-2-1
大田市場事務棟4F
電話：03-5492-5416・5407 FAX：03-5492-5407

5月の相場見通しは？！

野菜類は、入荷量は前年を下回り、相場は前年を上回るか！

果実類は、入荷量は前年並、相場は前年を上回るか！

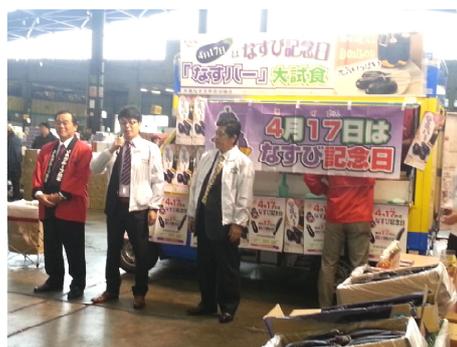
花きは、入荷量は前年並、相場は前年を下回るか！

やっちゃば閑話 「人と人とのつながり」 P12

首都圏掲示板 P13

<今月の4枚> ＊市場では、試食宣伝が花盛り

東京都中央卸売市場大田市場では、連日のように、朝6時半頃から、産地の主催で仲卸やバイヤー向けに、野菜や果物の試食宣伝会が開催されています。4月だけでも、宮崎マンゴー、静岡葉しょうが、冬春主産県のなす、福島アスパラガス、茨城サニーレタス・メロンなど、大変多彩です。試食宣伝は、全国各地のJA等産地から積極的な要望があり、生産者の参加も多く見られます。浅漬けなどメーカーとコラボした食べ方の提案も行われています。本県産地からの積極的な参加をお待ちしています。



CONTENTS (目次)

I 青果情報

- 01 4月（中旬まで）の経過
 02 東京都中央卸売市場の主要品目の入荷量と価格
 04 5月の見通し
 05 品目別生産出荷概況
 05 特集「春夏にんじん」
 06 だいこん、キャベツ類
 07 きゅうり、トマト
 08 大玉すいか、びわ

II 花き情報

- 09 4月の経過（販売経過、入荷量と単価の経過、品目別経過）
 10 5月の見通し（カーネーション、ヒマワリ、バラ）

III 千葉県内市場における園芸品の市況概況

- 11 3月の青果物と花き

IV やっちゃんば閑話

- 12 「人と人とのつながり」

V 首都圏掲示板

- 13 「桃の花で雪に負けない元気な産地をアピール！」
 「人気は変わらず！みやざき完熟マンゴー『太陽のタマゴ』」
 「房州びわの入荷が始まりました！」

用語解説

園芸市場 情報に 使用する 主な用語 解説	急騰	: 前日に比べ大幅に価格が上がる。(3割程度以上)	変動の 幅を 示す 用語	平年並	: ±2%以内
	強い	: 前日に比べ10%程度以上価格が上がる。		やや	: ±3~5%
	強保合	: 前日に比べ5%程度以上価格が上がる。		かなり	: ±6~15%
	保合	: 前日とほとんど同じ価格。		大幅	: ±16%以上
	弱保合	: 前日に比べ5%程度以上価格が下がる。			
	弱い	: 前日に比べ10%程度以上価格が下がる。			
	急落	: 前日に比べ大幅に価格が下がる。(3割程度以上)			
まちまち	: 産地、品種により、価格の騰落が異なること。				

I 青果情報

1 4月（中旬）までの経過

野菜類

気 象	4月上中旬の気象データでは、平均気温は全国的に平年を下回った。降水量は九州、四国地方の一部を除き、ほとんどの地点で平年を大幅に下回った。日照時間は九州、四国、中国地方の一部で平年より少なかったが、関東以北、奄美地方では平年より多かった。
入荷量	東京都中央卸売市場の入荷野菜は、関東産、西南暖地産が中心となった。 入荷量は、2月の雪害の影響が残っている「トマト」「きゅうり」で前年を下回った。また、「だいこん」「ねぎ」「かんしょ」等多くの品目でも、豊作であった前年を下回った。 結果として、入荷量は4月上中旬で86,851 t（前年比87.8%）と前年よりかなり少なかった。
相 場	全体的に入荷量が減少したにもかかわらず、「レタス類」「トマト」「なす」等の品目で、消費税増税による荷動きの悪さ等により安値となった一方で、「はくさい」「ねぎ」「かんしょ」等は高値となるなど、価格はまちまちとなった。 結果として、価格は4月上中旬計で226円/kg（前年比107.1%）と前年よりかなり高値となった。

果実類

入荷量	「かんきつ類」「りんご類」「いちご類」を中心に出回った。 入荷量は、「かんきつ類」が前年よりやや少なかったほか、不作の「りんご類」で前年を大幅に下回り、「いちご類」も中旬以降減少し前年を下回った。輸入果実は、バナナの入荷量が不作により大幅に少なかった。 結果として、入荷量は4月上中旬計で、18,341 t（前年比87.0%）と前年よりかなり少なかった。
相 場	入荷量が少なかった「りんご類」は前年より大幅な高値となり、「かんきつ類」もかなり高値となった。「いちご類」は高値であった前年並だった。 結果として、価格は4月上中旬計で397円/kg（前年比109.6%）と前年よりもかなり高値となった。

東京都中央卸売市場の主要品目の入荷量と価格

平成26年3月下旬～4月上旬

(単位:t、%、円/kg)

品目	産地	3月下旬				4月上旬				4月中旬				4月上中計			
		開市日数		本年7日・前年8日		開市日数		本年8日・前年8日		開市日数		本年7日・前年9日		開市日数		本年15日・前年17日	
		入荷量	前年比	価格	前年比	入荷量	前年比	価格	前年比	入荷量	前年比	価格	前年比	入荷量	前年比	価格	前年比
野菜総量	—	44,577	91.7	230	119.2	43,161	98.7	222	104.8	43,690	79.2	230	109.3	86,851	87.8	226	107.1
だいこん	市場計	4,602	93.7	63	110.7	4,207	102.4	67	94.4	3,979	82.4	78	120.3	8,186	91.6	72	106.9
	千葉	2,060	99.0	71	113.4	2,836	95.8	72	94.8	3,185	80.8	79	120.5	6,020	87.2	76	108.1
にんじん	市場計	2,533	107.2	152	95.5	2,545	103.7	145	80.9	2,784	88.9	127	79.1	5,330	95.4	136	80.3
	千葉	685	104.4	132	104.1	307	149.9	118	95.1	106	135.8	100	93.3	413	146.0	113	94.9
はくさい	市場計	2,202	84.5	75	116.3	2,046	88.5	65	106.7	1,815	71.3	46	121.1	3,861	79.5	56	114.6
キャベツ類	市場計	5,501	87.3	101	124.1	6,042	102.0	87	85.6	6,038	82.5	103	93.9	12,079	91.2	95	89.6
	千葉	626	69.5	115	151.4	560	126.9	96	96.6	621	147.5	108	89.2	1,182	136.9	103	93.0
ほうれんそう	市場計	531	107.7	349	112.4	443	109.8	417	89.7	337	87.4	639	112.5	780	98.9	513	99.5
	千葉	74	83.3	297	128.8	60	114.7	367	93.4	40	90.4	516	99.7	100	103.5	427	94.8
ねぎ	市場計	1,390	91.6	275	145.2	1,354	94.9	242	106.4	1,365	82.4	228	118.8	2,719	88.2	235	112.7
	千葉	616	86.1	289	144.4	591	92.2	254	108.6	589	74.6	233	120.4	1,179	82.4	243	115.1
レタス類	市場計	2,917	89.5	158	139.3	2,787	111.2	144	83.4	2,499	91.4	187	91.5	5,286	100.8	164	86.8
	千葉	101	86.0	163	135.9	51	78.1	173	93.5	28	94.0	247	96.0	79	83.1	199	96.0
きゅうり	市場計	2,191	92.0	280	131.4	2,121	104.8	286	91.4	2,355	80.4	284	107.5	4,476	90.4	285	100.3
	千葉	427	110.1	263	141.4	355	126.8	271	97.7	388	95.3	268	111.2	743	108.1	270	105.3
なす	市場計	801	96.1	357	106.1	785	104.9	348	94.1	795	81.5	363	95.5	1,580	91.7	355	94.6
	千葉	10	100.0	427	108.9	14	108.9	393	103.9	16	64.5	379	100.4	30	79.8	386	102.1
トマト	市場計	2,524	97.8	358	95.4	2,437	119.5	360	85.4	2,308	78.4	366	91.2	4,745	95.2	363	88.6
	千葉	129	83.5	331	94.8	146	106.3	322	84.8	132	61.9	329	90.5	278	79.3	325	88.0
ピーマン	市場計	733	102.1	408	109.1	710	103.9	395	100.9	760	92.2	364	90.9	1,470	97.5	379	95.6
	千葉	1	126.3	997	222.4	0	111.3	949	144.3	0	126.1	835	120.2	1	119.8	881	129.7
さといも	市場計	156	70.7	305	177.5	149	63.2	274	181.8	147	64.7	261	159.1	297	64.0	267	170.1
	千葉	44	64.4	330	212.6	36	44.2	320	232.9	32	53.3	316	193.5	68	48.1	318	214.3
ばれいしょ類	市場計	3,182	93.4	121	135.4	2,805	93.3	126	124.3	3,004	71.2	128	123.0	5,809	80.4	127	123.4
たまねぎ	市場計	3,997	101.3	149	154.2	3,570	85.9	144	167.0	4,545	63.2	122	175.2	8,115	71.6	132	173.9
生しいたけ	市場計	195	85.7	894	117.8	187	97.8	826	105.3	172	84.7	884	105.6	358	91.0	853	105.2
かぼちゃ	千葉	895	89.9	177	126.1	891	87.9	169	123.9	888	72.0	180	130.9	1,778	79.2	175	127.4
さやえんどう	市場計	86	86.1	800	116.3	84	102.6	798	102.9	72	89.0	986	96.0	157	95.8	885	98.3
かんしょ	市場計	857	91.2	196	133.6	814	88.4	182	127.6	732	81.7	172	125.9	1,547	85.1	177	126.9
	市場計	421	82.1	184	137.7	445	83.9	174	134.1	437	80.7	166	129.0	882	82.3	170	131.6
かぶ	千葉	477	71.7	151	143.0	556	102.5	127	120.3	482	78.9	132	111.0	1,039	90.0	129	114.8
	市場計	423	74.0	153	142.4	477	104.9	128	118.2	403	80.1	134	110.3	879	91.9	131	113.4
ごぼう	千葉	155	52.6	428	197.0	169	52.9	459	226.6	227	52.6	445	221.3	395	52.7	451	223.5
	市場計	0	2.1	323	666.0	0	8.2	429	469.1	1	15.9	522	374.7	1	11.6	486	430.1
こまつ菜	千葉	350	98.3	251	136.4	363	117.8	233	90.7	354	103.0	314	85.1	717	110.0	273	86.4
	市場計	22	112.2	252	127.6	14	72.2	271	97.3	19	99.8	319	84.1	33	85.6	298	91.1
こねぎ	千葉	158	83.5	636	124.2	161	98.6	582	118.7	146	81.2	581	109.5	307	89.4	581	113.7
わけぎ	市場計	7	88.4	756	141.3	9	99.7	551	120.5	9	86.5	525	113.0	17	92.7	538	116.7
糸みつば	市場計	59	83.0	301	131.9	61	100.7	280	118.8	55	84.6	283	107.0	116	92.4	282	112.3
しゅんぎく	市場計	70	106.6	486	145.3	55	138.2	441	74.5	41	93.4	666	96.5	96	114.8	537	83.4
	市場計	18	104.4	529	161.4	14	170.3	518	81.0	11	97.2	720	97.9	24	127.8	607	87.4
にら	千葉	310	80.9	431	169.6	303	98.6	365	145.4	285	82.3	383	116.3	588	89.9	374	127.8
セルリー	市場計	320	87.1	278	121.0	309	98.8	290	115.1	336	86.6	322	98.9	645	92.1	307	104.8

品目	産地	3月下旬				4月上旬				4月中旬				4月上中計			
		開市日数		本年7日・前年8日		開市日数		本年8日・前年8日		開市日数		本年7日・前年9日		開市日数		本年15日・前年17日	
		入荷量	前年比	価格	前年比	入荷量	前年比	価格	前年比	入荷量	前年比	価格	前年比	入荷量	前年比	価格	前年比
カリフラワー	市場計	80	100.9	243	107.4	82	99.7	243	85.7	79	93.2	275	113.7	161	96.4	259	98.6
ブロッコリー	千葉	778	81.3	285	113.7	647	94.0	345	104.0	560	96.7	440	95.2	1,207	95.2	389	99.4
サラダ菜	市場計	38	79.3	289	136.1	39	103.6	275	109.3	39	88.9	265	77.5	77	95.7	270	89.8
	市場計	14	73.1	277	143.6	14	105.9	268	113.2	15	84.1	258	79.0	29	93.3	263	91.0
パセリ	市場計	27	86.6	597	114.1	27	108.9	578	108.4	24	83.4	622	99.5	51	95.2	599	102.8
	千葉	11	102.8	604	111.2	12	157.6	552	93.4	12	102.2	575	95.9	24	123.7	563	94.5
チンゲンサイ	市場計	147	80.1	245	144.3	154	96.2	214	110.9	143	73.7	238	103.2	297	83.9	226	105.5
エンダイブ	市場計	7	90.5	433	89.5	7	97.2	382	77.0	6	91.4	538	81.9	13	94.4	455	79.3
ミニトマト	市場計	607	108.8	550	91.6	553	108.9	573	91.0	634	83.3	561	90.9	1,187	93.6	566	91.1
	市場計	50	94.1	587	92.0	52	130.8	563	83.7	52	67.0	578	89.1	103	88.6	571	86.9
とうもろこし	市場計	3	134.0	464	100.0	3	91.7	511	106.0	15	73.4	599	94.1	18	76.2	583	95.1
いんげん	千葉	107	95.1	811	112.0	109	126.5	787	91.9	113	105.9	843	85.0	221	115.1	816	87.6
そらまめ	市場計	281	84.1	417	133.7	345	89.5	344	122.2	378	109.2	353	87.7	723	98.9	349	103.0
えだまめ	市場計	8	31.8	891	209.4	17	80.4	758	137.1	19	73.0	742	95.7	36	76.3	749	110.7
やまといも	—	50	81.2	617	123.5	61	96.0	638	125.4	49	69.7	626	123.7	110	82.1	633	124.7
	—	32	84.8	607	123.0	41	109.8	619	121.4	34	81.7	600	117.6	75	95.0	610	119.7
根しょうが	市場計	144	95.3	585	136.6	133	89.6	615	141.1	135	72.3	669	138.5	268	80.0	642	139.0
マッシュルーム	市場計	35	106.8	859	103.3	36	117.5	829	101.3	36	104.1	829	100.5	72	110.3	829	100.8
外国産	市場計	1,977	103.9	214	108.1	1,811	95.0	221	114.6	1,783	81.2	227	108.7	3,594	87.6	224	111.2
果実総量	市場計	11,263	96.5	395	111.3	9,374	97.4	397	108.7	8,967	78.2	397	110.4	18,341	87.0	397	109.6
みかん類	市場計	585	73.3	321	139.7	204	59.9	417	159.6	55	62.5	451	119.8	259	60.5	425	148.9
(ハウスみかん)	市場計	10	137.0	802	143.4	4	148.6	830	120.5	3	61.3	2,045	128.6	7	93.5	1,332	105.9
かんきつ類	市場計	4,540	105.4	237	104.4	3,561	107.1	247	112.0	3,682	88.9	248	107.4	7,243	97.0	248	109.4
りんご類	市場計	1,859	83.2	293	126.2	1,785	77.4	307	130.8	1,672	64.3	312	133.1	3,457	70.4	310	131.9
(ふじ)	市場計	1,540	84.8	290	122.9	1,466	76.3	306	129.9	1,338	62.6	311	133.6	2,804	69.1	309	131.8
いちご類	市場計	2,230	110.1	898	103.2	1,729	104.0	851	95.8	1,298	80.9	941	102.9	3,027	92.6	889	98.7
(とちおとめ)	千葉	805	86.8	847	111.6	691	106.4	815	102.3	633	85.3	900	108.5	1,324	95.1	856	105.1
(あまおう)	市場計	567	127.6	991	92.4	421	92.2	878	90.4	258	73.9	957	95.1	679	84.3	908	92.1
メロン類	千葉	165	95.3	785	88.2	172	94.9	816	108.3	273	76.2	747	111.6	445	82.5	774	110.9
	市場計	4	61.6	1,034	91.4	4	100.8	1,200	111.8	4	57.3	1,332	157.9	8	75.0	1,260	134.4
(アールスメロン)	千葉	89	89.6	1,115	94.2	67	76.5	1,301	119.3	80	73.0	1,251	130.8	147	74.5	1,274	125.4
	市場計	4	67.3	1,034	93.2	4	101.6	1,200	112.0	4	59.5	1,332	155.4	8	76.9	1,260	133.2
すいか類	千葉	216	115.5	324	88.8	318	115.5	314	95.4	556	87.5	280	93.1	874	96.0	293	94.5
	市場計	0	96.0	383	278.3	0	—	419	—	0	—	250	—	0	—	346	—
(大玉すいか)	千葉	160	128.1	256	84.1	237	132.1	263	94.1	483	104.7	256	96.0	720	112.3	258	95.6
	市場計	—	—	—	—	—	—	—	—	0	—	250	—	0	—	250	—
(こだますいか)	千葉	56	90.4	518	106.4	82	84.6	463	109.7	73	41.9	443	112.8	154	57.1	454	112.5
	市場計	0	—	383	—	0	—	419	—	—	—	—	—	0	—	419	—
びわ	千葉	6	92.3	2,795	111.0	18	131.9	2,245	99.1	22	80.9	2,171	106.1	40	97.4	2,204	104.1
	市場計	—	—	—	—	—	—	—	—	0	—	2,744	—	0	—	2,744	—
外国産	市場計	1,748	79.7	194	109.7	1,689	98.8	199	105.8	1,605	73.8	222	114.0	3,294	84.8	210	109.6

注) 斜体で表示した品目は、季節的に入れ替えをします。
0は単位に満たないもの。 —は数値の発表がないもの。

前年比10%以上
前年比10%以下

資料：東京青果物情報センター速報

2 5月の見通し

野菜類

春物野菜の最盛期となり、関東が中心産地となります。

2月の低温から一転して、3月以降気温が上昇し、生育が順調なことから、入荷量は多くの品目で前年並みとなります。一方、2月の降雪によるハウス倒壊等の影響の残る「きゅうり」「トマト」の入荷量は、前年を下回る見込みです。

価格は、安値で推移した前年と比べて多くの品目で高くなるほか、前年並みの入荷量の品目についても前月からの高値基調を引っ張り、前年を上回る水準となる見込みです。

果実類

「かんきつ類」「いちご類」は終盤を迎え、「すいか類」「メロン類」を中心に「びわ」「ぶどう類」「もも」など多くの果物が出回ります。

入荷量は、「大玉すいか」は前年を上回るものの、「メロン類」「びわ」は前年を下回り、施設が雪害を受けた「ぶどう類」「もも」も少なく、全体では前年並となる見込みです。

価格は、雪害の影響を見込んで様々な品目の引き合いが強まり、「メロン類」「びわ」などで前年を上回る見込みです。

()は単位

品目	入 荷 量				単 価				千葉県産実績	
	見込み (t)	前年実績 (t)	前年比 (%)	5ヶ年平均 (t)	見込み (円/kg)	前年実績 (円/kg)	前年比 (%)	5ヶ年平均 (円/kg)	前年入荷量 (t)	前年占有率 (%)
だいこん	9,620	9,623	100.0	9,725	75	72	104.2	82	7,660	79.6
にんじん	8,300	8,380	99.0	8,591	125	126	99.2	131	1,962	23.4
はくさい	6,210	6,537	95.0	6,291	45	37	121.6	53	19	0.3
キャベツ類	18,600	19,217	96.8	18,623	70	61	114.8	82	7,811	40.6
ほうれんそう	1,600	1,602	99.9	1,505	430	373	115.3	410	85	5.3
ねぎ	3,850	3,842	100.2	3,855	300	293	102.4	328	1,269	33.0
きゅうり	6,800	8,975	75.8	8,518	235	169	139.1	199	1,032	11.5
トマト	10,250	10,872	94.3	9,563	260	253	102.8	293	985	9.1
ピーマン	2,670	2,701	98.9	2,572	330	272	121.3	298	9	0.3
ばれいしょ類	11,050	10,682	103.4	10,393	110	101	108.9	145	99	0.9
大玉すいか	5,400	5,254	102.8	5,074	215	218	98.6	219	739	14.1
メロン類	3,750	3,870	96.9	3,775	460	433	106.2	442	48	1.2
びわ	190	197	96.4	190	1,500	1,315	114.1	1,306	19	9.6

前年比10%以上

前年比10%以下

3 品目別生産出荷概況

春夏にんじん

主要産地の春夏にんじんの入荷量
(東京都中央卸売市場)

産地	25年5月入荷量	25年5月シェア率
千葉県	1,962 t	23.4%
徳島県	5,582 t	66.6%
青森県	31 t	0.4%
北海道	19 t	0.2%

5月入荷予測	8,300t(前年比99.0%、平年比96.6%)
5月価格予測	125円(前年比99.2%、平年比95.4%)
5月市況予測	上旬: ⇨ (保合) 中旬: ⇨ (保合) 下旬: ⇨ (強保合)

今後の競合産地の動向は?

にんじんは、出荷期間によって、春夏にんじん(4-7月)、秋にんじん(8-10月)、冬にんじん(11月-3月)に分類されています。

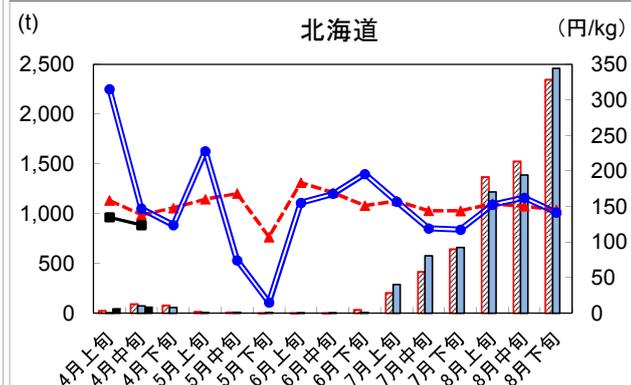
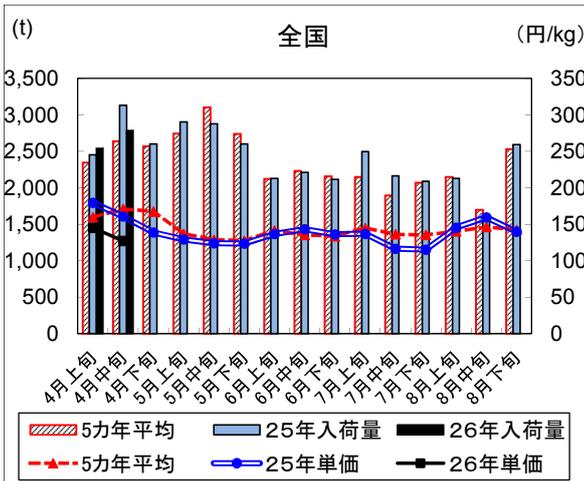
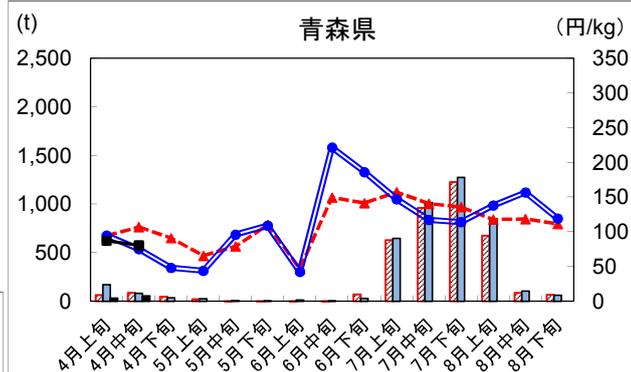
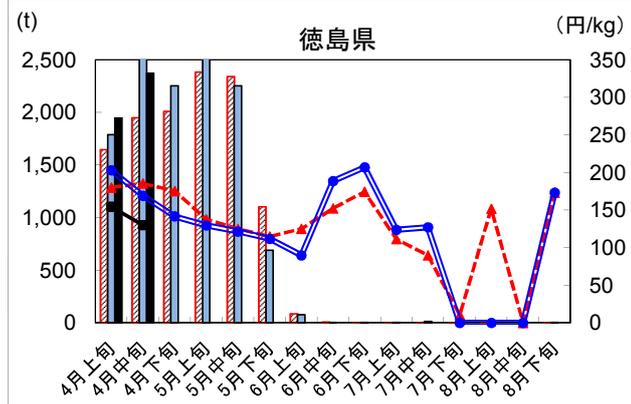
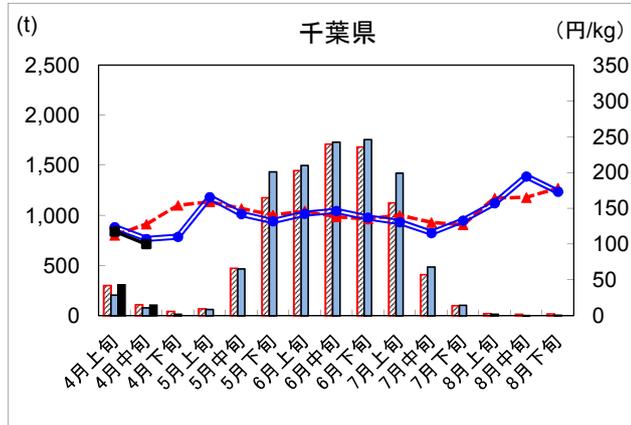
千葉県の出荷は主に11月から3月と5月から7月で、東京都中央卸売市場への年間出荷量は北海道、徳島を抑え、第1位となっています。

春夏にんじんの主な産地は徳島、千葉、青森で、3月上旬から5月中下旬まで出荷する徳島、5月中旬から出荷が本格化し6月がピークとなる千葉、7月から出荷する青森と産地をリレーしていきます。

本年の徳島県産は前倒し傾向で入荷しており、5月の入荷量は前年を下回る見込みです。

千葉県産は5月中旬から前年を上回る入荷が見込まれています。

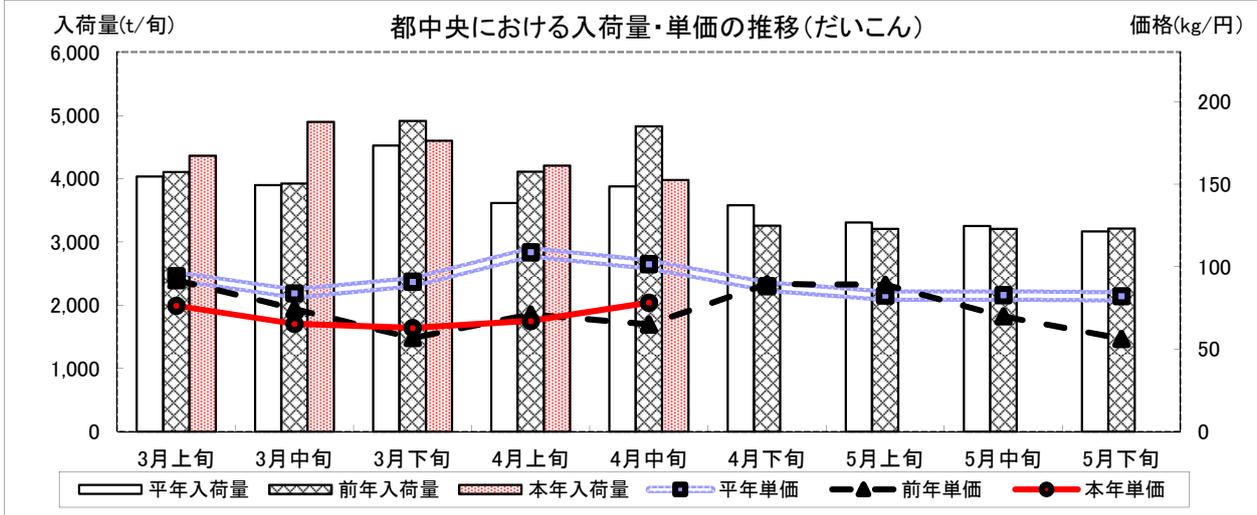
価格は基調安となっており、徳島県産の切り上がる5月下旬から上げる見込みです。



だいこん

5月の見通し

入荷予測	9,620t(前年比100.0%、平年比98.9%)
価格予測	75円(前年比104.2%、平年比91.5%)
市況予測	上旬：↗(強保合) 中旬：⇔(保合) 下旬：⇔(保合)
主産地の概況	千葉県; 2月の強風でトンネルが飛ばされた一部のほ場で抽台が懸念される。晩抽性品種が広く普及しており、大きな被害は出ないが、出荷量がやや減少する見込み。5月の出荷量は少なかつた前年並の見込み。

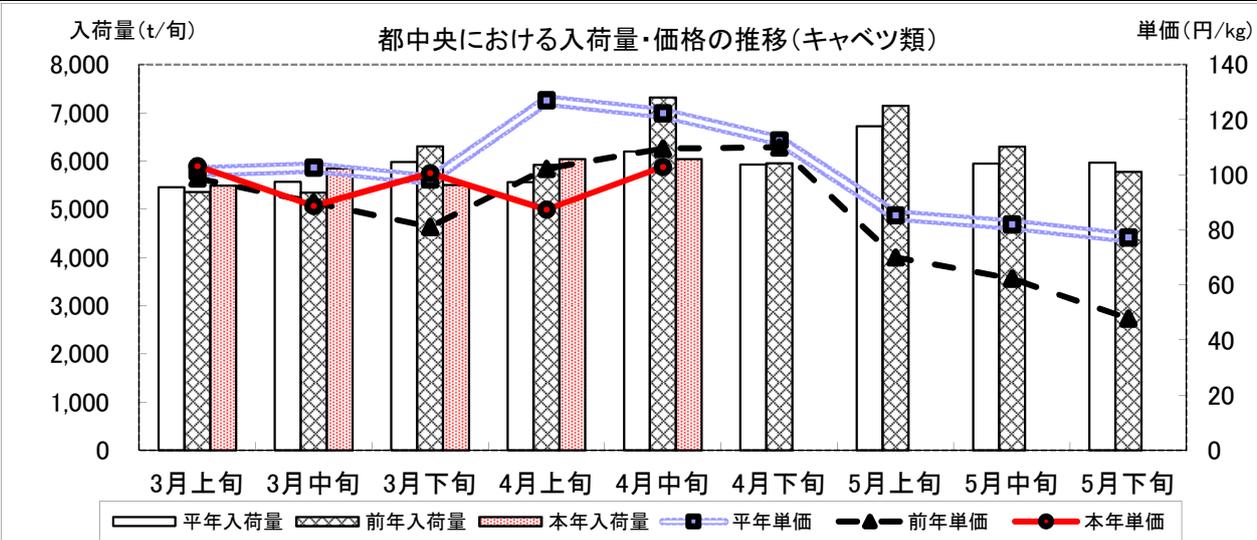


資料は東京青果物情報センター速報値、平年値は5ヶ年平均値。

キャベツ類

5月の見通し

入荷予測	18,600t(前年比96.8%、平年比99.9%)
価格予測	70円(前年比114.8%、平年比85.4%)
市況予測	上旬：↘(弱保合) 中旬：↘(保弱合) 下旬：⇔(保合)
主産地の概況	千葉県; 4月以降の気温上昇により、生育が遅れた前年に比べ前進傾向。玉の肥大は良好。5月の出荷量は、生育遅れ分が集中して多かった前年をかなり下回り、平年並の見込み。 神奈川県; 生育は順調。目立った病害虫の発生もなく、5月の出荷量は前年並みの見込み。 愛知県; 冬キャベツは一部抽苔も見られるが、大玉傾向。出荷量は5月連休まで前年並みの見込み。連休明けからは初夏どりキャベツが始まる。初夏どりキャベツの作付は前年並みで、キャベツ全体の5月の出荷量は前年並の見込み。

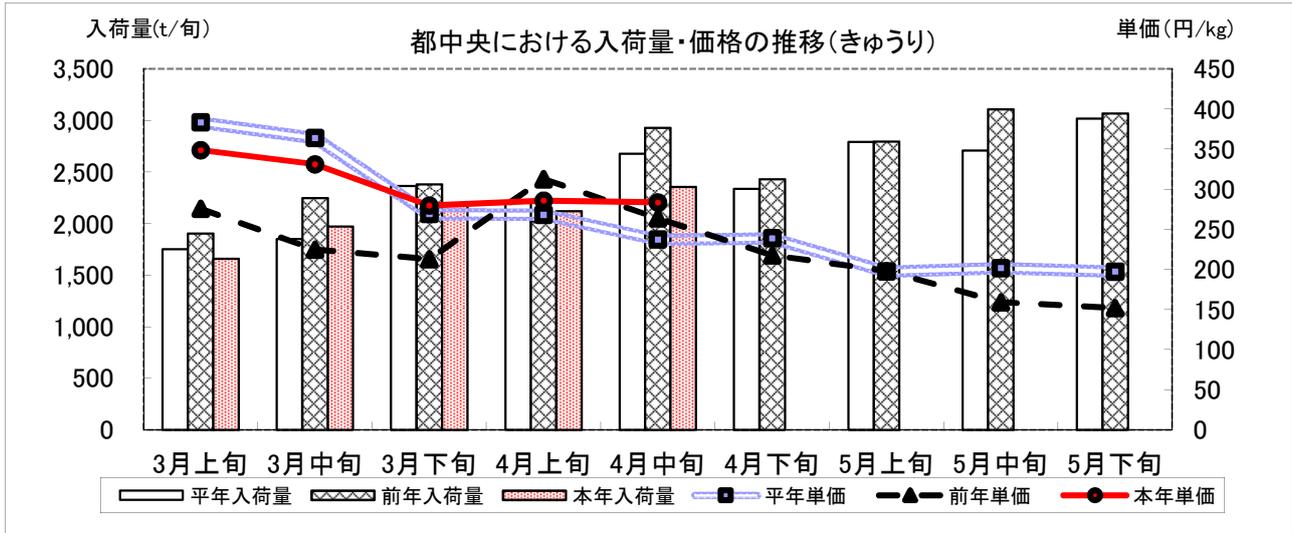


資料は東京青果物情報センター速報値、平年値は5ヶ年平均値。

きゅうり

5月の見通し

入荷予測	6,800t(前年比75.8%、平年比79.8%)
価格予測	235円(前年比139.1%、平年比118.1%)
市況予測	上旬：⇨(弱保合) 中旬：⇨(保合) 下旬：⇨(強保合)
主産地の概況	埼玉県;2月の大雪により主力産地で多数のハウスが倒壊。5月の出荷量は前年及び平年を大幅に下回る見込み。
	群馬県;2月の大雪により多数のハウスが倒壊。ハウス倒壊の少ない地域でも雪解け水・低温の影響により生育は停滞気味。5月の出荷量は、前年及び平年を大幅に下回る見込み。
	千葉県;生育は概ね順調。5月の出荷量は前年並の見込み。

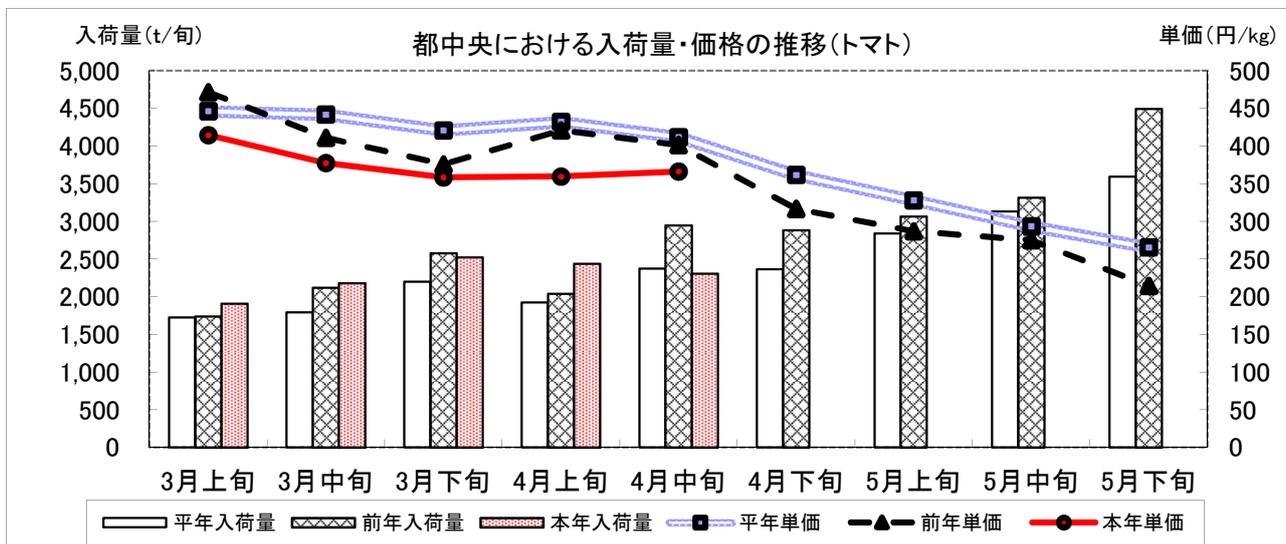


資料は東京青果物情報センター速報値、平年値は5ヶ年平均値。

トマト

5月の見通し

入荷予測	10,250t(前年比94.3%、平年比107.2%)
価格予測	260円(前年比102.8%、平年比88.7%)
市況予測	上旬：⇨(弱保合) 中旬：⇨(保合) 下旬：⇨(強保合)
主産地の概況	栃木県;生育は順調。着果状態も良く、5月の出荷量は多かった前年並みの見込み。
	愛知県;生育は順調。着果状態も良く、5月の出荷量は多かった前年を下回るが、平年を上回る見込み。
	千葉県;生育は概ね順調。5月の出荷量は多かった前年を下回るが、平年を上回る見込み。

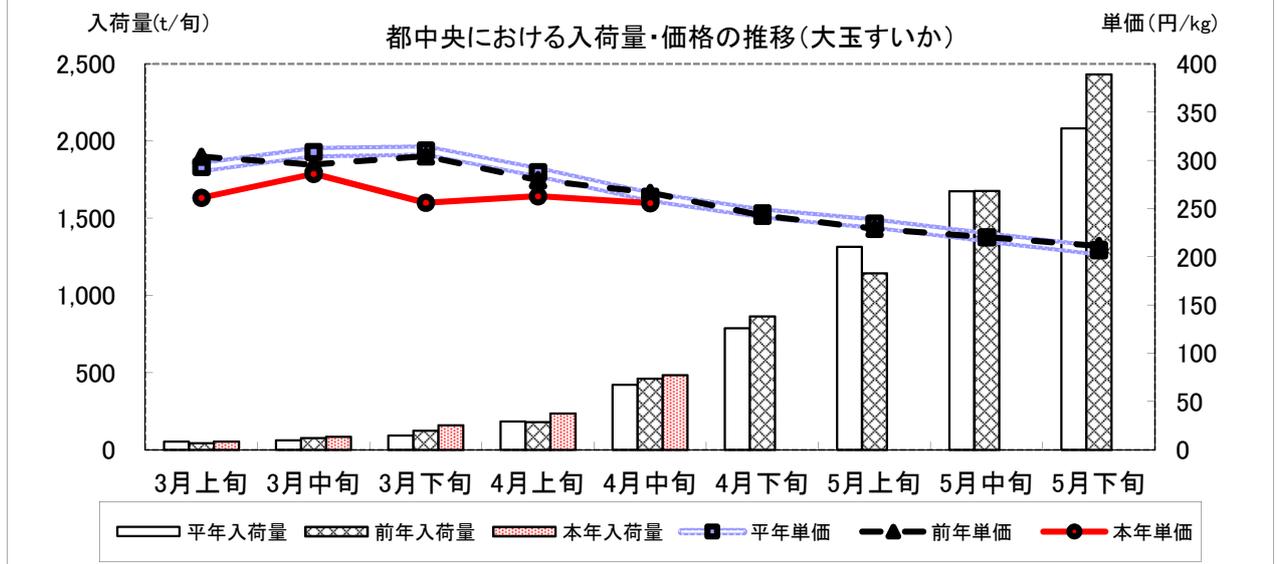


資料は東京青果物情報センター速報値、平年値は5ヶ年平均値。

大玉すいか

5月の見通し

入荷予測	5,400t(前年比102.8%、平年比106.4%)
価格予測	215円(前年比98.6%、平年比98.2%)
市況予測	上旬：⇨(弱保合) 中旬：⇨(保合) 下旬：⇨(保合)
主産地の概況	熊本県：肥大が良く、4月は前年を上回る出荷量となっており、5月の出荷量は前年をやや上回る見込み。
	千葉県：2月の降雪・低温の影響で、例年よりも出荷が遅れ、5月の出荷量は前年をやや下回る見込み。

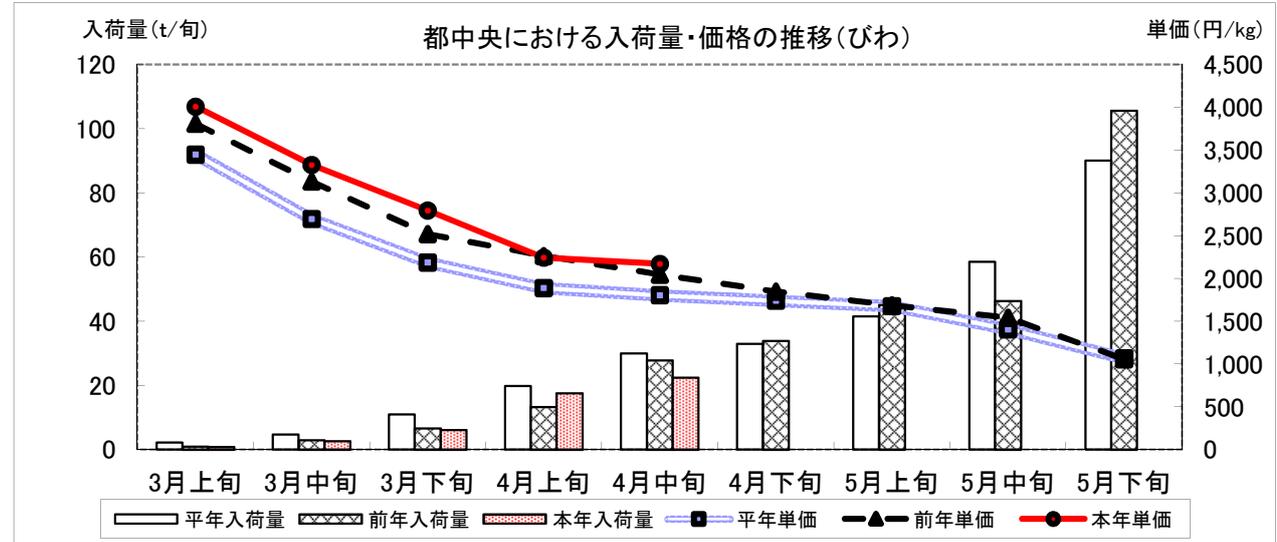


資料は東京青果物情報センター速報値、平年値は5ヶ年平均値。

びわ

5月の見通し

入荷予測	190t(前年比96.4%、平年比100.0%)
価格予測	1,500円(前年比114.1%、平年比114.9%)
市況予測	上旬：⇨(弱保合) 中旬：⇨(弱保合) 下旬：⇨(弱保合)
主産地の概況	長崎県：ハウス物は5月中旬でほぼ終了し、連休明けから露地物が出る。5月の出荷量は多かった前年よりやや少ない見込み。
	千葉県：5月はハウスが主体となる。生育が遅れており、連休以降に出荷量が増える。5月の出荷量は少なかった前年より多いが、平年を下回る見込み。



資料は東京青果物情報センター速報値、平年値は5ヶ年平均値。

II 花き情報

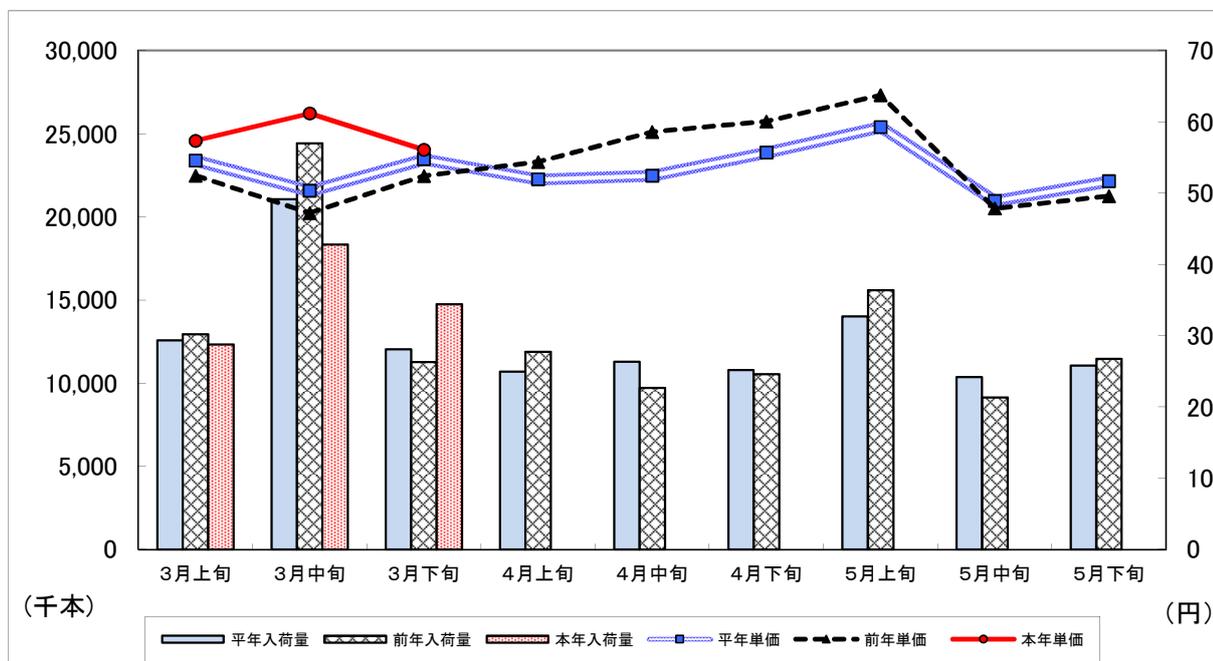
1 4月の経過（切花）

入荷量は少なかったが、大きな需要が無く、価格は低調に推移した。

（1）販売経過（東京都中央卸売市場大田市場）

項目	経過
入荷量	春の花から初夏の花への切り替えの時期となるが、冬期の低温や燃油高騰による加温の手控えにより生育が遅れている品目があり、入荷量は前年を下回った。
相場	上旬は業務・小売とも引き合いが弱く、価格は下落し、厳しい相場展開となった。 中旬は週末のブライダル向けの引き合いがあり、価格は回復したが前年を下回った。
品目等	カーネーション、ユリ等の洋花を中心に、ほぼすべての品目で相場が下落したが、シンビジュームは2月の降雪の被害により入荷量が平年より大きく減少し、価格は上昇した。

（2）入荷量と単価の経過〔株大田花き（切花）〕



(3) 品目別経過

品目	経過	
カーネーション	大田花き	気温の上昇に伴い入荷量は増加したが、大きな需要が無く、非常に厳しい取引状況が続いた。輸入品に関しては平年並の入荷状況であった。
	世田谷花き	気温の上昇に伴い、SPを中心に入荷が増えて相場を崩したが、中旬からは、やや相場を戻した。
	フラワーポート	生育が遅れていた国内産の入荷増に加え、輸入品も増加し、厳しい販売状況となった。
ヒマワリ	大田花き	気温の上昇につれて徐々に入荷量が増加した。販売面では中旬から徐々に引き合いが強まった。
	世田谷花き	千葉県・高知県・佐賀県産中心の入荷であった。単価は保合で推移した。
ガーベラ	大田花き	入荷量は昨年並みであった。4月18日のガーベラ記念日に向けた注文はあるが、それ以外に大きな需要はなく、例年以上に厳しい販売となった。
	F A J	気温の上昇に伴い入荷量が増えたことから相場は低迷したが、ガーベラの日に向けて若干回復した。
シンビジウム	大田花き	降雪の被害により、主力産地である群馬の出荷が大幅に減少し、昨年よりも高単価で推移した。花の色はピンク系に偏っていた。
	世田谷花き	主力産地である群馬が雪害を受けた影響で、入荷量は大幅に減少した。

2 5月の見通し

品目	見通し	
カーネーション	F A J	母の日に向けて出荷量が増えてくる。5月5日から引き合いが強まる見込み。
	世田谷花き	母の日の出荷量はそれなりにまとまるが、一部の品種で、母の日の需要期以後に出荷がずれ込むものがある。
	フラワーポート	全体的に生育の遅れが見られる。5月第1,2週の母の日の需要期以後は厳しい販売となる。
ヒマワリ	大田花き	母の日での引き合いが期待されるほか、季節品目として安定した販売が見込まれる。
	F A J	入荷量はほぼ前年並の見込み。
	フラワーポート	入荷量は下旬から増加する見込み。
バラ	大田花き	母の日に向けて、上旬はピンク系、赤系中心に引き合いが強くなる見込み。母の日過ぎからは高冷地からの出荷が本格的に始まる。
	F A J	連休のブライダルと母の日の需要で、月の前半の取引は活発になる。
	フラワーポート	母の日まで引き合いは強いが、それ以後は厳しい販売が予想される。

平成26年3月号まで掲載していた、県産花き主要品目についての翌月の出荷見通しデータが必要な方は、首都圏マーケティングセンター(電話03-5492-5416 担当:伊藤)まで御連絡ください。

Ⅲ 千葉県内市場における園芸品の市況概況

1. 青果物

単位：t、円/kg、%

品目	3月				累計 (H25.4月～H26.3月)	
	数量	単価	前年比		数量	単価
			数量	単価		
野菜	25,747	176	99	112	301,833	178
だいこん	3,326	70	113	93	37,568	83
にんじん	1,417	144	112	97	18,080	139
はくさい	1,866	68	110	119	25,034	67
キャベツ	5,103	89	102	111	54,870	89
ねぎ	1,022	260	87	150	11,988	255
トマト	986	385	97	88	14,928	347
きゅうり	1,021	310	88	134	11,905	299
ばれいしょ	1,873	111	105	129	18,249	108
たまねぎ	1,764	154	92	171	22,118	107
レタス	1,086	172	90	123	14,640	185
果実	5,667	330	88	112	79,741	285
みかん	693	222	65	129	17,809	202
かき類	3	224	23	94	3,828	260
グレープフルーツ	210	185	78	112	2,585	154
なし類	4	200	148	98	6,641	255
ぶどう類	21	401	77	109	2,173	639
いちご類	739	1,028	88	115	3,376	1,055
すいか類	19	390	60	95	6,813	184
メロン類	104	281	76	110	3,764	348
バナナ	458	167	71	107	6,926	149
りんご	725	290	86	127	8,170	260
その他	373	154	107	86	3,427	173
青果物合計	31,787	203	97	110	385,001	200

2. 花き

単位：千本(鉢)、円/本(鉢)、%

品目	3月				累計 (H25.4月～H26.3月)	
	数量	単価	前年比		数量	単価
			数量	単価		
切り花	4,464	53	92	117	35,371	53
きく	1,366	60	94	107	12,251	58
バラ	133	85	85	118	1,414	62
カーネーション	540	48	94	123	4,205	45
枝物	73	90	92	120	1,241	88
鉢物	110	137	94	100	1,491	126
その他	2	116	100	105	49	139
花き合計	4,649	56	92	116	38,152	57

※県内公設卸売市場実績。品目は主なもの。数値の「0」は入荷はあるが単位に満たないことを示す。

※「-」は、数値の発表がないことを示す。

や っ ら や ば 閑 話

「人と人とのつながり」

異動の季節となり、市場でもあちらこちらで、新年度の挨拶回りが行われた。私も多くの人と名刺交換を行った。しかし毎年のことながら、名刺が作ったそばから無くなっていくのに驚く。これだけ多くの人との出会いがあるのも、この職場の特徴であろう。

2年前、市場に異動と決まったときには、どんな人たちがいるのだろうとちょっと不安になったものだ。それまで何度も市場に行ったことはあったが、場内の熱気がまるで鉄火場のように感じ、セリ場を歩く仲卸や買産人が、コワモテの「おっちゃん」に見えた。

しかし、この「おっちゃん」達も、セリ場で顔を合わせ、顔見知りになるにつれて、しだいに気軽に話ができるようになった。今ではいろいろと貴重な情報を教えてくれたり、相談に乗ってくれたりする人もおり、仕事をする上で非常に大切な存在となっている。そんなとき、やはり、この業務は人と人とのつながりが大事なのだと感じる。

このように感じるのは市場の中だけでは無い。量販店で実施しているフェアにおいても、初対面の頃は、どこかよそよそしかった店員が、何度か店を訪れて話をしたり店頭に立ったりしているうちに顔なじみになる。そうするとフェアでの取扱品目数が増えたり、売り場の飾り付けや位置取りが良くなったりする。そういう経験がある。

以前、とある量販店のバイヤーから、「産地が売り込みで来店して顔なじみになると、店員に産地や商品に対する思い入れができ、一生懸命売ってあげようという気になる」との話を聞いたことがある。やはり販売の場面においても、人と人とのつながりが大事ということだろう

「首都圏の台所」と言われる千葉県。我々も、その消費地に近いという立地性の強みを活かして、もっと積極的に小売業者とのつながりを強めていく必要があるのではないか。そんなことを考えた市場3年目の4月であった。

(ピンクの自転車)

首都圏揭示板



桃の花で雪に負けない元気な産地をアピール！

4月4日、東京都中央卸売市場大田市場に桃の木が現れました。

これは、2月の大雪で施設に大きな被害を受けた山梨県のJAふえふきが、「露地桃は被害がなく、大丈夫です！」ということアピールするため、急ぎよ持ち込んだもので、東京青果(株)、東京荏原青果(株)、東京神田青果市場(株)の3社で展示されました。

早朝から実施された切り枝の配布は大人気で、用意された切り枝はたちまちなくなってしまいました。

試食だけでなく、作物が元気に育っている様子を知ってもらう事も大切な産地PRとなっています。



人気は変わらず！みやざき完熟マンゴー「太陽のタマゴ」

果実を一つずつネットでつつみ、自然落下させることで収穫するみやざき完熟マンゴー。その中でも「糖度15度以上」「重さ350g以上」「色と形が美しい」の3基準を満たした最高級品が「太陽のタマゴ」です。

4月10日の完熟マンゴー試食会の後に行われた太陽のタマゴの初セリは活気にあふれ、1万円以上の単価で次々と競り落とされていました。

最高価格で落札されたもの(右写真)は、都内の高級果実専門店に並び、5万円で販売されたそうです。





房州びわの入荷が始まりました！

4月14日、東京都中央卸売市場大田市場に千葉県産びわが初入荷しました。冬の低温の影響で生育が例年よりも遅れていますが、買参人からは「連休明けの母の日前が一番売れる。これくらいの入荷時期で丁度いいのでは。」との声もありました。

試食した流通関係者によれば「食味は良好」とのこと。仲卸を訪れていた千葉県内の果実専門店は、「うちが売らなければと思って、一番に仕入れている。」と意気込みを語っており、良食味の房州びわの安定的出荷が望まれています。



競売場の見本棚に並んだ房州びわ



種子なしびわ「希房」